

アルミと樹脂の複合サッシ シンフォニー テラスタア・勝手口ドア(枠) 組立て説明書

■組み立てられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

▲注意 …取扱いを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意

- 漏水の原因になるおそれがあるため、下記事項を厳守してください。
- 縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠のまわりにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。
- ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

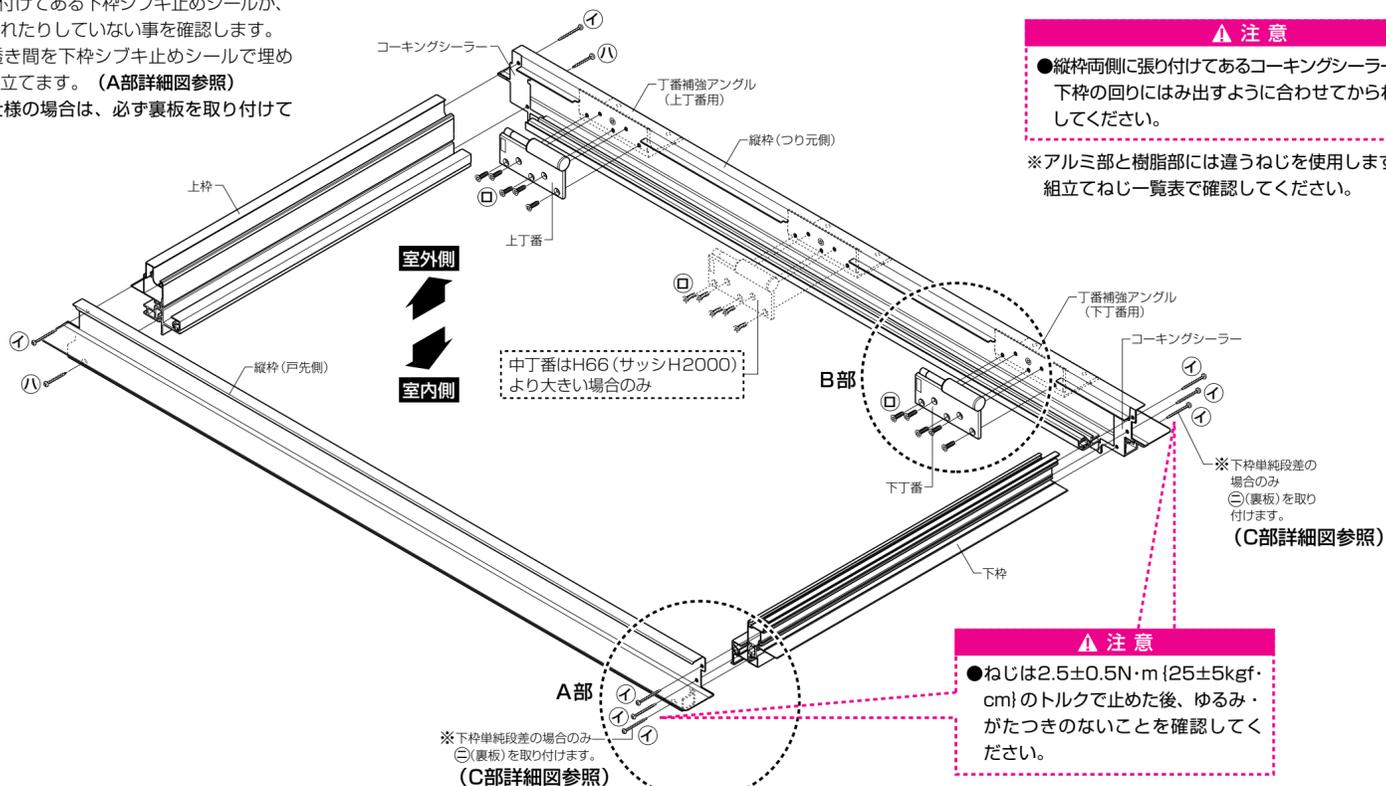
■組立てねじ一覧表

記号	部品箱の丁番に同梱			
	㉑	㉒	㉓	㉔
姿図				
使用	φ4×30ナベタッピンねじ2種 (8本)	M4×10皿小ねじ (10本) (H66より大きい場合は15本)	φ4×30ナベタッピンねじ1種 (2本)	裏板 (2個) ※下枠単純段差仕様の場合のみ使用
	枠のアルミ部	丁番	上枠(室内側)	下枠(室内側)

■組立て上のおお願い

- DF枠・DFD枠の組立ては、「連窓方立 組立て説明書」もご覧ください。
- 必ず指定の組立てねじを使用してください。(アルミ部と樹脂部には違うねじを使用します。組立てねじ一覧表を確認してください。)
- 下枠単純段差仕様の場合は、必ず裏板を取り付けてください。
- 本体の組立ては、「本体組立て説明書」をご覧ください。
- 本体のつり込み・枠の取付けは、「枠取付け説明書」をご覧ください。
- 取付け説明書及び取付けねじセットは必ず施工される方へお渡しください。
- 本体を枠につり込んだ状態で運搬しないでください。枠が変形し、ドアの開閉に支障がでるおそれがあります。
- 下枠シブキ止めシールは性能保持のための重要な部品です。はがれていないことを確認してください。
- フリクションアームを使用する場合は、枠組立て前に上枠に取り付けてください。
- ソリ防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶついたりこすったりしないでください。
- 樹脂材に荷重がかからないよう、保管・輸送の際は保護してください。

- ①下枠両端に張り付けてある下枠シブキ止めシールが、ずれたり・めくれたりしていない事を確認します。
 - ②縦枠と下枠の透き間を下枠シブキ止めシールで埋めながら枠を組み立てます。(A部詳細図参照)
- ※下枠単純段差仕様の場合は、必ず裏板を取り付けてください。



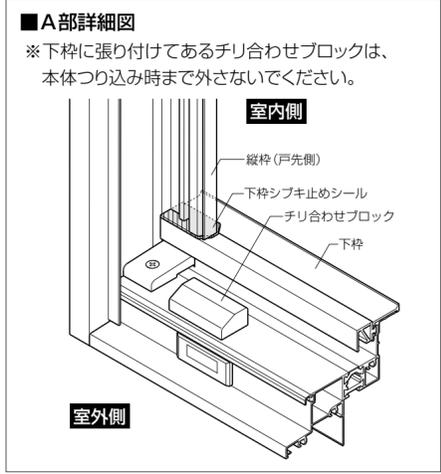
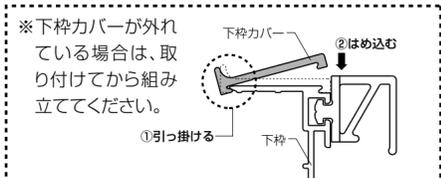
▲注意

●縦枠両側に張り付けてあるコーキングシーラーが、上・下枠の回りにはみ出すように合わせてからねじ止めしてください。

※アルミ部と樹脂部には違うねじを使用します。組立てねじ一覧表で確認してください。

▲注意

●ねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ ($25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$) のトルクで止めた後、ゆるみ・がたつきのないことを確認してください。

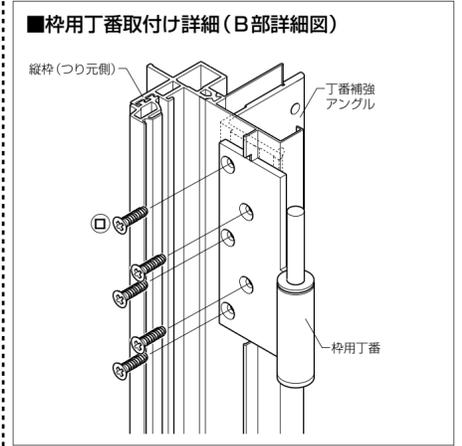
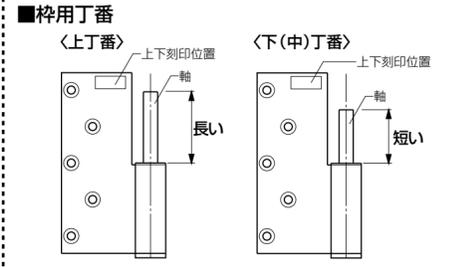


■丁番の取付け

※枠用丁番には2種類あります。軸の長い方は縦枠(つり元側) 上部に、短い方は中央(在来工法でH66より大きい場合)及び下部に、ねじ止めします。

※枠用丁番には上下の刻印が打たれています。

※枠用丁番に付いているワッシャーは、建付け調整に使用します。なくさないようにしてください。



■下枠単純段差組立て詳細(C部詳細図)

- ※樹脂部材破損を防ぐため、裏板は必ず取り付けてください。
- ①縦枠室内側樹脂部材のホロー(C-1図)に裏板を差し込みます。
- ②裏板の丸穴を縦枠の組立て穴に合わせて、下枠にねじ止めします。(C-2図)
- ※裏板は片側の穴のみ使用します。

